

熱中症に注意！

☎ 消防本部警防課 ☎ 74-5895

熱中症は、室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、さまざまな障害を起こします。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いと、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合があります。注意しましょう。

◆令和2年は60人が熱中症で搬送

市内で熱中症で救急搬送された方は、60人でした。令和元年の56人と比べて増加傾向にありました。

◆60歳以上の方は特に注意が必要

60人の内、60歳以上の方は36人と、全体の60%を占めています。高齢者は温度に対する感覚が弱くなるため、室内でも熱中症にかかりやすいといわれており、注意が必要です。

◆暑さを避けこまめな水分補給を

屋内でも気温や湿度が高い日は、適度に扇風機やエアコンを使用して暑さを避けましょう。また、小まめに水分を取ることが大切です。日頃から栄養バランスの良い食事と、体力づくりを心掛けて熱中症を予防しましょう。

映画「二宮金次郎」 上映

☎ (公財) 市文化事業団 ☎ 73-3251

新を背負って勉学に励み、その後600以上の村の復興を手がけた二宮金次郎の、ドラマチックな生きざまが魂を揺さぶる感動作。出演：合田雅吏、田中美里、成田 湊ほか



日時 6月5日(土)13:30～(開場 13:00)
 会場 市民会館
 定員 500人(入場人数を制限しています)
 料金 全席自由、一般・前売：500円、当日：800円
 ※事業団友の会会員は50円引き。3歳未満・障害者は無料。
 (障害者もチケットの事前予約または発券が必要です。障害者手帳を提示してください。取り扱いが市民会館のみです)
 ◎前売券が完売の場合は、当日券はありません。
 プレイガイド 取手市民会館 ☎ 73-3251、取手市民会館 LINE 電子チケット(前売券一般のみ)、「小さな家」(ふくろうの郷内) ☎ 72-6046、(株)とりで旅行センター ☎ 74-1681、上野屋酒店 ☎ 83-3319(藤代駅前)

フラワーカナル ポピーが咲きました

☎ 水とみどりの課 ☎ 内線 1561

小貝川フラワーカナルでポピーが咲きました。約1kmにわたって広がる光景は、「藤代まちづくり協議会」「絆会」「神住フラワーカナル愛好会」の皆さんの活躍によるものです。



※今年のフラワーカナル春の花まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

市民憲章「川柳」入賞作品

コミバス・小堀の渡しで展示

☎ 市民協働課 ☎ 内線 1172

市民憲章推進協議会で市制50周年を記念し実施した市民憲章「川柳」の入賞作品を、コミュニティバスと小堀の渡しに展示しています。

☎ コミュニティバス

掲示期間 6月30日(水)まで
 展示作品 入賞作品8作品
 ☎ 都市計画課 ☎ 内線 3112



☎ 小堀の渡し

掲示期間 常時掲示
 展示作品 最優秀賞のみ
 ☎ 水とみどりの課 ☎ 内線 1534



市長 Mayor's column コラム

映画「二宮金次郎」の 上映について



取手市長

藤井信吾

6月5日に市民会館で、映画「二宮金次郎」を上映いたします。二宮尊徳の名で広く知られる農政家で江戸時代後期に仕法と言われる独自の農村復興事業を行った日本が世界に誇れる偉大な人物です。金次郎は現在の小田原市栢山の農家に生まれましたが、両親に先立たれ、兄弟は別々の親戚に預けられるなど、苦難の少年期を送ります。小学校の校庭にあった新を背負い本を読む銅像を見て育った世代には分かりきったことを申し上げ恐縮です。

令和の時代を生きる私たちには、江戸時代後期の農村の貧しさ、身分制度ゆえの不条理、酷さ、窮屈さは、本当に理解困難だろうと思います。映画の中では、宇津家桜町領の復興の命を必死に果たそうと、農民の信頼を集め、「チー

ム金次郎」で、果敢に困難に立ち向かっていく姿が描かれています。

私は一昨年、この映画を鑑賞しましたが、改革の途上で赴任してきた代官の豊田正作にあらゆる意地悪を仕掛けられ、窮地に追い込まれながらも、耐え忍ぶところは圧巻です。また、金次郎が桜町領に入るに当たって小田原の全財産を処分して得た70両を以て自家作を手当てし不返転の気概で入植をしていること、この切迫度が映画の切れ味を高めています。後から、この作品が、『HAZAN』(下館出身の陶芸家板谷波山の生涯を描いた作品)の五十嵐匠監督による作品だと知って合点がいました。作品を貫く野武士的な気高さを感じてもらえればと思います。

さて、二宮尊徳翁は、600を超える

農村や藩の立て直しに全国を歩き、幾多の功績を残すとともに、経営や修養の基となる「至誠・勤労・分度・推譲」、「積小為大」といった実践から出た優れた教えを遺しました。さらに、幾多の志のある人材が報徳の教えを胸に、新天地の開拓に当たり、明治以降の農業の基盤を作りました。尊徳翁の思想は農業者だけでなく、現在放映中の大河ドラマの主人公、日本近代経済の父と言われる実業家渋沢栄一にも引き継がれ、渋沢は道徳経済合一説を唱え、経済活動で得た利益を社会に還元することを唱えました。

今回の映画上映を、ぜひ、親子で鑑賞していただき、逆境の中でも周囲の信頼を勝ち得ていく金次郎の不屈の魂に触れていただければと存じます。